

# 平成 28 年度特定非営利活動に係る事業報告書

NPO法人八千代オイコス

## I 実施事業内容

東京から 30 km 余の距離にある我が街八千代市は、東葉高速鉄道の開通以来自然豊かな北西部・北東部の市街地開発により、近年自然のホタルやメダカの棲息が見られていた場所が年々その数が減少しました。これは水田の乾田化や農地の放棄、又水質汚染による水辺の環境悪化等が最大の原因である。

このままでは八千代市の豊かな自然環境は損なわれてしまうとの思いから、八千代オイコスは自然環境を守るため、住民・地域企業・行政その他の市民団体等と連携を保ちながら、2001 年 12 月に設立し、以来花輪川を中心に環境保全と環境啓蒙活動を行っている。

### 1. 地域環境の保全を図るための自然環境調査・評価事業

#### (1) よみがえれ花輪川事業（豊かな自然を感じられる花輪川）

— 市民活動団体支援金交付制度（1%支援事業） —

八千代市は新川（印旛沼放水路）に代表されるように印旛沼水系にある市です。その印旛沼の水質は様々な理由によって汚染され、常に全国ワースト仲間入りという不名誉なことになっている。

花輪川は八千代市北西部を流れ、桑納川から新川、印旛沼に注いでいる。私どもは「印旛沼をきれいにするにはまず身近な河川から」という合言葉の下に花輪川の水質浄化と豊かな自然環境を市民と共有し、印旛沼再生に思いを馳せてもらうことを願って活動している。

#### ① 花輪川遊歩道の整備と花壇の保守

##### (ア) 遊歩道の整備

花輪川には桑納川まで散策できる側道がある。この景観を保全するために花輪橋～土橋までの範囲で清掃、雑草刈りを毎月 1 回、夏場は 2 回行い遊歩道としての通路を確保している。今年には特に高校生数名の参加と、熱心なメンバーにより常時手入れが行われ、気持ち良い遊歩道が確保された。また、側道脇や花壇の草木に陶板で作成した名称表示板を貼付け、散策者に樹木や草花の名称を知ってもらい自然をより楽しんでもらう試みを行っている。

##### (イ) 花壇の花苗植栽

花輪川の土橋から上流 50m には側道脇に整備した花壇がある。そこには季節に応じた草花を植栽するとともに、川の堤側面にはマツバギクの植栽を行い、遊歩道を訪れる市民の目を楽しませるため景観の保守、整備を定期的に行っている。

本年度も環境緑化公社や市内の園芸店からご協力いただいた。

#### ② 花輪川河川内の整備

##### (ア) 水草の繁茂状況

夏場の度々にわたる豪雨の影響か中洲護岸の崩壊とともに川底の土壌も押し流され、一時は川全体で繁茂する光景が見られたヤナギモやオオカナダモ等の水草も昨年来ほとんど見られなくなっている。

##### (イ) 中洲の護岸修復作業

夏場の急激な増水や激流の発生で中洲の護岸の崩落が起り、その都度修復を行っているが、夏場はアシ等の繁茂が激しく間に合わない状況が起こっている。花輪川全体の川筋も変化がみられるが、自然に抗うことをせず様子を見守りながら美観を維持することを心掛けてきた。今年もほたるの里などでの剪定枝で 12 月～3 月までの冬場に護岸の修復を行った。

##### (ウ) 花輪川最上流部の流入水

花輪川の上流部は 3 面コンクリートに覆われた排水路である。八千代緑ヶ丘住宅地北東部の東葉高速鉄道操車場脇下を流れており、花輪橋を過ぎてから花輪川となる。この水路には吉橋工業団地内の工場で使用した処理水（原則は法令で規制された基準を満たした水）、川底のコンクリート孔 5 箇所からの自噴水、その他にも山側の側面数か所からも湧水とみられる水、操車場側からも車両を洗車に使用した処理水など多くの水が流入している。

#### ③ 環境美化里親（アダプト）制度の活動

本年度も花輪川の各活動においては平成 20 年 5 月に改定したアダプト制度の合意書に基づき、八千代市都市整備部土木建設課と連携をとりながら活動を行っている。

## 2. 自然環境に関する意識開発、環境教育支援事業

### (1) 川の学校

今回は以前と同様に花輪川を中心に川の学校を開催しました。

7月30日の1日目、班作りから始まり、花輪川の水の検査を各自で試薬を使い調べて花輪川に入り目網とペットボトルで作った仕掛けを設置した。2日目は仕掛けを外しどんな生き物が入っているかをしらべ、全員花輪川の中の生き物探しに夢中になる。午後には農業交流センターに移動してワークショップ「花輪川に生き物がたくさん棲める作戦会議」を班ごとに話し合いそれを発表しあいました。参加者は市内の小学校より33名の子供たち、25名の保護者(未就学3人+小2年)の参加があり、発表は大人の班も一緒に行い例年同様参加頂いたご父兄、児童からは大好評をいただくことができました。かわら版32号「川の学校特集号」を参照

## 3. 地域のホテル等の水辺の動植物調査及び棲息環境の保全・改善事業

### (1) 市内のホテル調査

- ① 本年度も会員により、八千代市内に生息するヘイケボタルの調査を行ったが、確認箇所も少なくなり、ホテルの分布個所の集計ができなかった。
- ② 8月6日(土)には八千代市民40名の参加による八千代でも数少ないホテルの自生が見られる石神谷津にて開催。この地も自然のホテルの減少が目立ち本年もあまり多くは見ることが出来なかった。以前は毎年数百匹を超えるヘイケボタルが見られたが、上流の谷津がなくなり住宅開発が進んでいる事と、例年実施される田圃への除虫薬飛行散布も影響しているものと思われる。
- ③ 8月12日(火)に有志による合同調査を行なった。八千代ゴルフクラブ脇の間谷谷津には無数のホテルが乱舞する姿を確認したがこの場所も次第に人の知れるところとなり、何らかの保存対策を検討するべきである。

## 4. 地域の里山自然保全のための河川等の水質浄化及び湿地帯、休耕田の有効利用事業

### (1) 米づくり体験教室を開催

昨年に引き続き神久保において1/4反ほどの小規模田圃を借り受け、全て手作業にてもち米の植え付けを行った。本年度は一般市民から希望者を募った結果、6家族、23名が参加してくれた。田植えから田の草取り、ハザ架け、収穫まで大勢の参加者でにぎやかに楽しく作業が進められた。

### (2) 餅つき会

昨年度に引き続き島田地区、道の駅の新川の対岸に新設オープンされた島田地区農業交流センター広場で12月18日(日)に開催した。

参加人数は米づくり教室の会員8家族を含め19家族大人35名、子供12名。

もち米57kg、臼で26臼搗いた。本年は交流センターの蒸かし機を2台お借りして杵臼部隊と餅つき機を2台使用、打ち手の負担を少なくしようと工夫し、良質なお餅を搗きあげることが出来た。

当日は農業研修センターのご協力を得て、風もなく好天に恵まれ、暖かい一日をおいしい搗きたてのお餅とトン汁などに舌鼓みを打ち、楽しいひと時を過ごすことができた。

## 5. まちづくり活動に係る行政及び諸団体との協働及びネットワーク事業

### (1) 市民活動団体支援金制度(1%支援制度)に応募

八千代オイコスでは本年もこの制度に応募し花輪川遊歩道、花壇整備の活動にこの資金を充当した。この制度は市民税の1%が納税者の指定する市民団体の活動に支援されるものである。本年も市民に協力を呼び掛けた結果、金額は62,098円の支援を得た。PR動画を駆使し応援を依頼するもその機会も少なく公開場面を如何に展開するかが今後の課題である。

来年度から又制度に変更があり、得票獲得数の大幅減が予測される。周到な検討を要する。

### (2) 行政及び市民活動団体との協働

#### ① 八千代市市民活動サポートセンターでの協働

八千代オイコスでは八千代市の市民活動サポートセンターには毎年継続的に運営スタッフや運営委員として参画し、その運営に関して積極的に協力している。

- ・平成28年10月30日(日)「市民活動フェスティバル2016」フルルガーデン広場
- ・平成29年1月27日(金)地域デビュー講座
- ・平成29年2月18日(土)地域の仲間づくり

## ② 千葉県河川環境課との協働

八千代オイコスが千葉県の「印旛沼連携プログラム」の参加団体として登録されている。この事業の一環として、毎年「花輪川エコウォーキング」を実施してきた。4月に計画した「菜の花エコウォーキング」を満開時に合わせ3月27日（日）に実施した

## ③ 八千代市「ほたるの里づくり実行委員会」との協働

八千代オイコスはこの会の団体会員に登録しているが、オイコス会員の内、数名が「ほたるの里づくり実行委員会」の役員になり、その運営に参画し、行事企画・実行に協力している。

- ・平成28年4月9日（土） ほたるの里総会、
- ・平成28年7月21日（木） 夜の生き物観察会役員として参加。

## ④ 八千代市環境保全課との連携活動＝行政主催の以下の行事に参加

- ・平成29年3月12日（土） 八千代市里山シンポジウム（八千代市市民会館）に参加。

## ⑤ その他

- ・八千代市市民活動団体連合会に参画 9月16日（金）
- ・ボーイスカウト第2団との共同活動 9月18日（日）
- ・八千代市50周年事業として、千本桜の会及び市民連合会共同活動で第1回新川千本さくら祭りを開催、大盛況に終わる。

## (3) 企業との協賛

⑥ イオン八千代緑が丘店において「イオン幸せの黄色いレシート」キャンペーンに参加し、毎月11日には店頭活動を行い、活動に必要な文具や作業用品の支給を受けている。

⑦ イオンでは毎年3月11日に東日本大震災支援キャンペーンを行っている。

## (4) 広報活動

### ⑧ 八千代オイコス会報の発行

本年度は31号（5月）・32号（9月）・33号（2月）を昨年に続きカラー印刷にて毎号500部発行。千葉県庁、八千代市庁、市内図書館、公民館他の公共施設等、30個所に設置をお願いする他、協力団体や市民にも配布し、八千代オイコスの活動を広く紹介している。

### ⑨ ホームページの充実及びPR動画

本年度は、専門知識の高い会員によりホームページのメンテナンスが従来以上にきめ細かく実施され、内容の充実が図られた。又八千代市との連動も同時に行い一層のPR効果を高めた。支援制度PRには当会の動画を製作、ビジュアル面の強みも発揮出来た。

## (5) オイコス15年記念事業

2001年12月設立以来15年の歴史を経て、記念事業を企画。12月10日市内イタリア料理店「パッソノヴィータ」に於いて15周年記念パーティーを開催しました。12月の忙しい時期に秋葉八千代市長始め谷口環境政策室長、沢山の市民友好団体の皆さんに参加頂きオイコス会員共々60名余の下、賑やかに過ごす事が出来ました。

## 6. 本年度の成果と留意点

オイコスは長きに渡り花輪川の清掃と水の浄化を目指し活動を続けてきましたが、都市化の波は活動の範囲を超えスピードを増しています。これまで外に向かってアピール出来るオイコス活動としては花輪川を使った[川の学校]、通年を通して神久保の[米作り]が主でそれは八千代と言う都市化と原風景が混在する中でたくさんの子供たちに体験を通して八千代がその子供たちにとって故郷として心の片隅に残っていてほしいと願い、また八千代のたくさんの子供たち同士の知り合う場、友達づくりの場として、“自然”と言うキーワードの中で、八千代でしか出来ない経験をしてもらう場作りを提供してきました。また、それなりの成果が出ているとオイコスは自己評価しています。

毎月1回の花輪川の清掃活動や水質調査など会員の一部の人が、見えないところでの活動は決して楽なものではありません。しかしたくさんの方の集まりが楽しい活動に変えると考えています。

長年に渡り同じような行事はマンネリ化になって新鮮味が会員自体にも感じていると思います。常に新しい会員の拡大と、新しい行事にチャレンジしていくことが団体を維持していくことだと思っています。美しく豊かな環境の保全は一朝一夕には成し難いものであり、放置すればまた元の荒地になってしまいます。

今年度もご協力いただいた関係各位の方に心より感謝を申し上げますとともに、今後のご支援、ご協力をお願い申し上げます